


細野氏、解党論公言せず

民主党の岡田代表は16日、年内の党の解党を目指す細野政調会長と東京都内で会談した。解党論が噴出して以降、両者が会談するのは初めて。岡田氏は党幹部として慎重に行動するよう細野氏を注意することにも、年内に維新の党と統一会派を目指す執行部の方針に理解を求めた。

民主党の解党などをめぐり 岡田代表と細野政調会長の発言

岡田代表




旗を掲げて、しっかり結束できる選択肢を作らなければならない(11月14日)

あてもない解党は全く考えられない。(維新の党との)統一会派は通常国会の前に行わなければならない(11月14日)

同じ考え方を糾合する必要がある。その仕方は私も考えがある。代表に直接申し上げたい。それで対外的に発信したい(11月15日)

外への発信は重要な役員であることを踏まえていただきたいと(細野氏に)申し上げた(11月16日)

細野政調会長



岡田氏、統一会派理解求める

＊ 都内で会談

会談は細野氏の要請で行われた。岡田氏は会談後、記者団に「(細野氏に)私の考え方を受け止めてもらい、幹部間で違う発信がないようにしていただきたい」と申し上げた」と述べた。細野氏は記者団に「(自らの)持論を話すことは(党にとって)プラスにならない」と語り、解党論への言及は避けた。だが、「私のイメージは申し上げた。重要なのは、しっかり野党が結集して参院選で選択肢を示すことだ。できるだけ早いことにはない」とも述べ、解党論へのこだわりをにじませた。

細野氏が解党論を公言しなかったことで、党執行部内には「きょうで終わりたい」となどと事態が収束するとの

見方が広がっている。

ただ、党内の路線対立が完全に払拭できたわけではない。党内の保守系議員である長島昭久元防衛副大臣は16日、野党再編に向けた超党派の勉強会を年内に発足させる意向を表明した。

長島氏は解党論を唱える細野氏や前原誠司元代表に近く、勉強会を野党再編の受け皿としたい考えだ。